

IP Net Phone SX

取扱説明書(設定編)



このたびは、IP Net Phone SXをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
させていただきます。

- この取扱説明書は本製品を使用する際の操作方法について説明しています。
この取扱説明書を見て正しい操作を理解してください。
- お読みになった後も、本製品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

【ご注意】

本製品は、電話帳に代表される個人情報の保存または、保持可能な商品です。設置工事、保守、廃棄、譲渡及び返却される際は、本製品内部に保守または保持された個人情報を消去する必要があります。

目次

1	メニュー機能を利用する	2
1-1	メニュー構成	3
1-2	ネットワーク設定を行う	7
1-3	VLAN設定を行う	9
1-4	SIPアドレスを設定する	12
1-5	認証機能を設定する	14
1-6	ディスプレイネームを設定する	16
1-7	サーバ設定する	18
1-8	カレンダー／時計を設定する	23
1-9	エコーキャンセラー設定の変更	25
1-10	音量・LCDコントラストの設定値保存	26
1-11	フレキシブルオートキー割付設定を確認する	27
1-12	ヘッドセット設定する	28
1-13	マイク制御設定する	30
1-14	電話帳の登録／編集を行う	31
1-14-1	新規登録を行う	31
1-14-2	登録情報を編集する	34
1-14-3	登録情報を削除する	36
1-14-4	発信／着信履歴を使用して新規登録をする	38
1-15	設定データを出荷時設定に戻すには	40
1-16	ローカル保守を行う	41
1-16-1	電話機をローカル保守モードにする	41
1-16-2	ファイルをダウンロードする	42
1-16-3	ファイルをアップロードする	44
2	付録	46
2-1	設定ファイル編集	46
2-1-1	ユーザデータを編集する	46
2-1-2	電話帳データを編集する	48
2-2	保守メニュー設定で使用するダイヤルボタンについて	52
2-2-1	電話帳選択でのダイヤルボタン毎の頭出し優先順位一覧表	52
2-2-2	ダイヤルボタン毎の入力文字一覧表	53
2-3	VLAN機能を使用する	54
2-3-1	電話機のPCポートに接続する機器(PC)にタグVLAN機能がある場合	54
2-3-2	電話機のPCポートに接続する機器(PC)にタグVLAN機能がない場合	56
2-4	「故障かな?」と思ったら	58
2-4-1	LCDに表示されるエラー	58
2-4-2	着信ランプに表示されるエラー	59
2-4-3	こんなときには	59
2-5	パスワード入力を行う	60

1 メニュー機能を利用する

保守メニューでは、ネットワーク設定／SIP関連設定／電話機関連設定／電話帳設定／ローカル保守機能などを利用することができます。また、各種設定値を閲覧することもできます。

<基本操作>



ダイヤルボタン

：メニュー選択（左の数字）に対応したメニュー画面または設定画面を表示します。設定値を入力します。



クリアボタン

：設定値入力キャンセルとなり前の設定値となります。また、文字列設定入力時は1文字消去（バックスペース）します。



上下カーソル

：メニュー選択（メニュー項目が5以上の場合）や設定値の表示がページをまたがる場合にページを切り替えます。



左カーソル

：1つ前のメニュー画面に戻ります。（メインメニュー画面からは、待機状態に戻ります。）



右カーソル

：設定入力時において文字選択中に文字確定して右にカーソル移動します。
また、電話帳一覧表示中に選択した登録情報の詳細内容が表示されます。



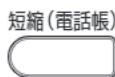
確定ボタン

：入力した内容で設定し、1つ前のメニュー画面に戻ります。



保留ボタン

：設定入力時に文字種別（カナ・英大・英小・数字）を切り替えます。



短縮（電話帳）ボタン

：文字列設定入力時に“.”（ドット）が入力されます。

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連

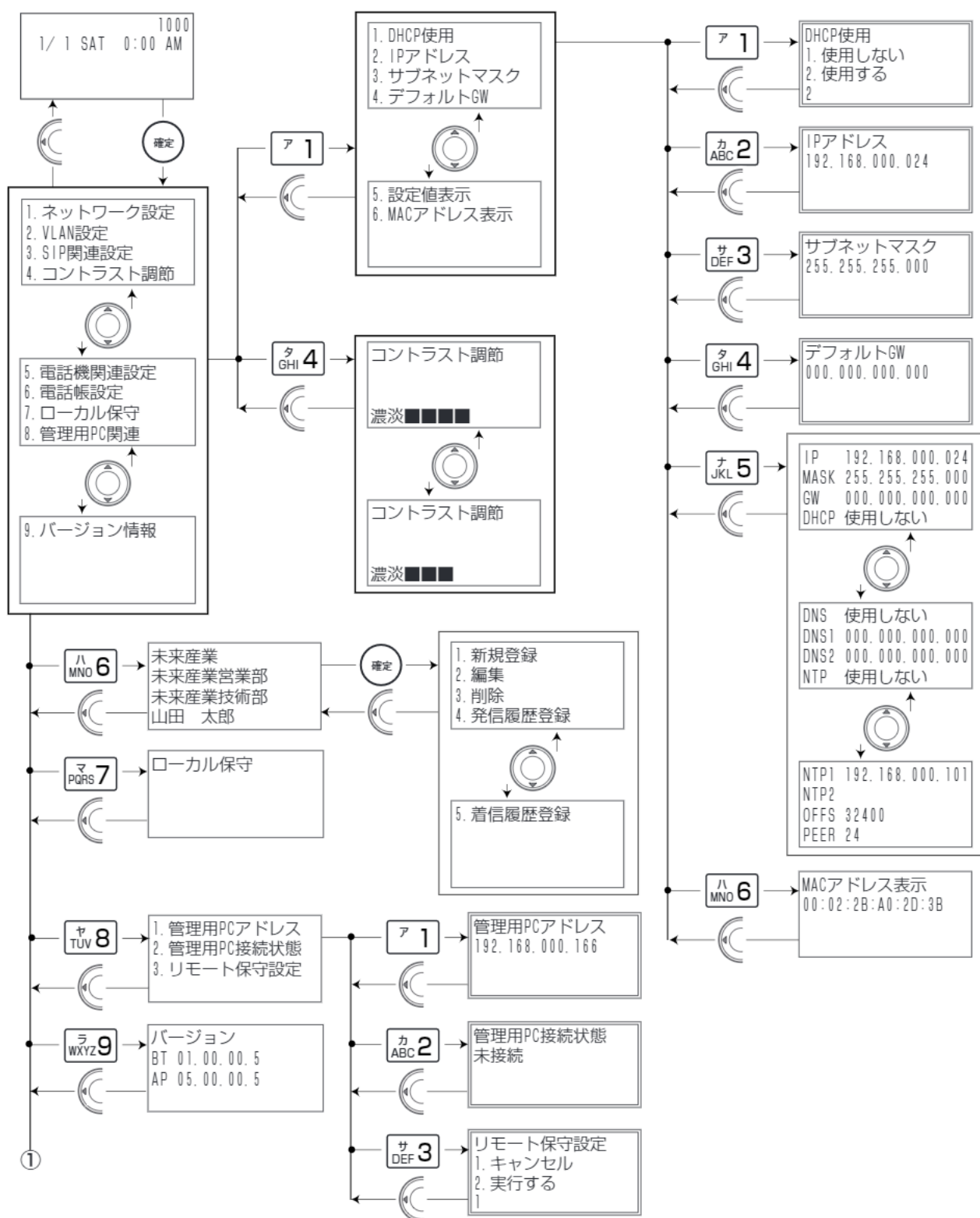
9. バージョン表示

メインメニュー画面

補 足

保守メニュー中（ローカル保守中以外）に一定時間キー操作を行わないとカレンダー／時計表示に戻ります。カレンダー／時計表示に戻る時間を変更したい場合は、工事担当者にご確認ください。

1-1 メニュー構成

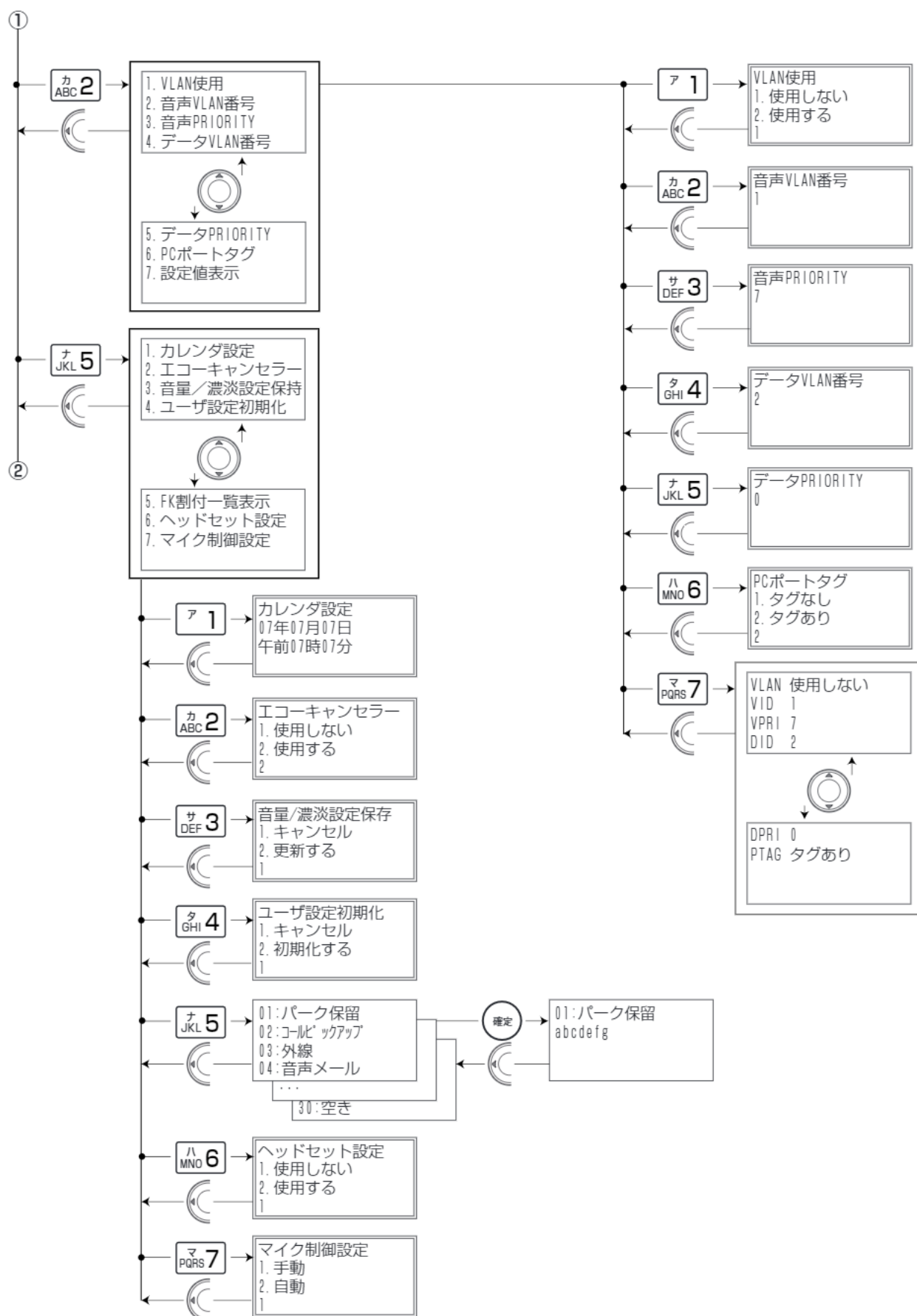


※太枠はメニュー選択項目です。

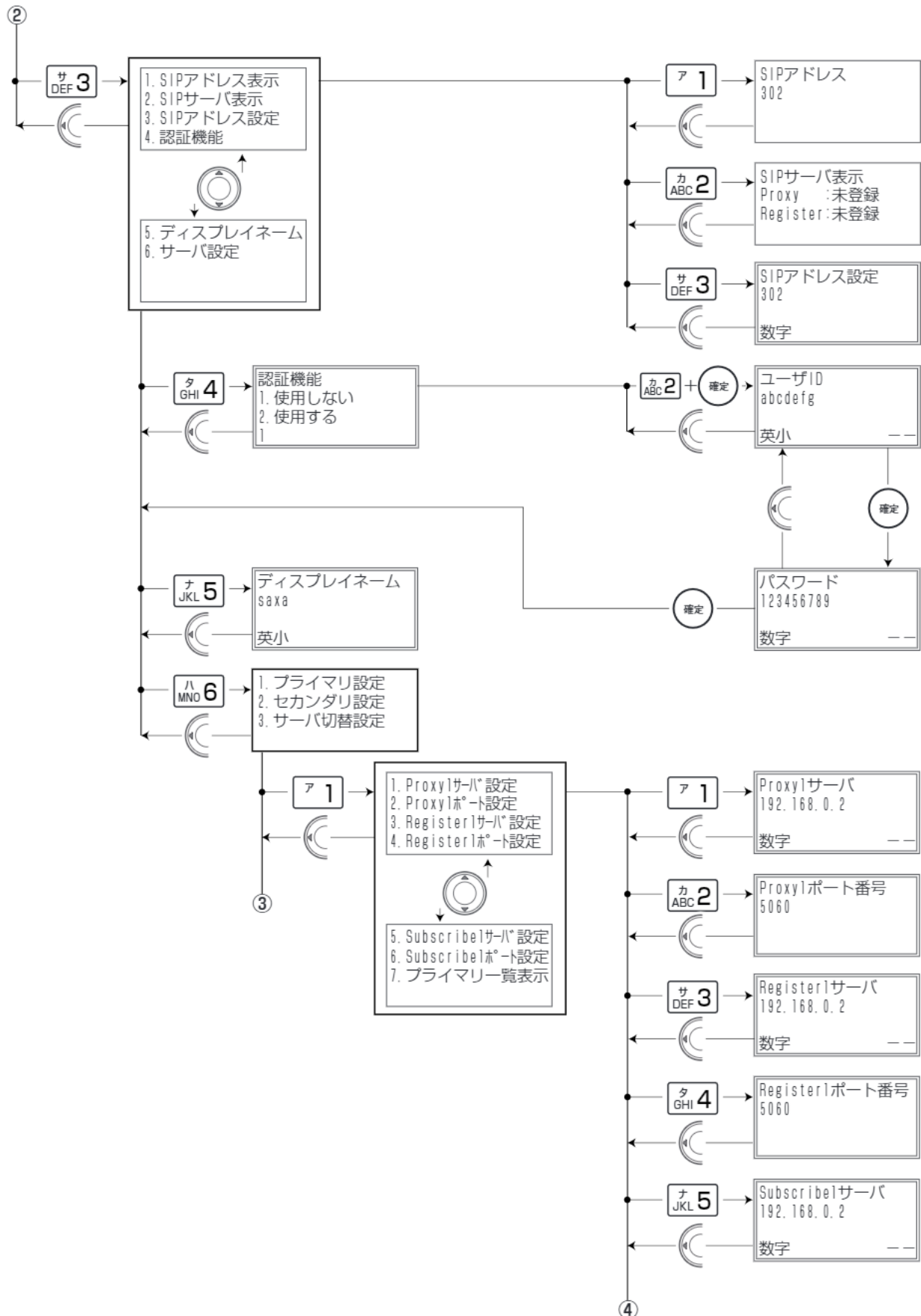
※二重枠は設定項目です。

※設定項目内での【クリア】ボタンは、
入力キャンセルとなり前の設定値と
なります。

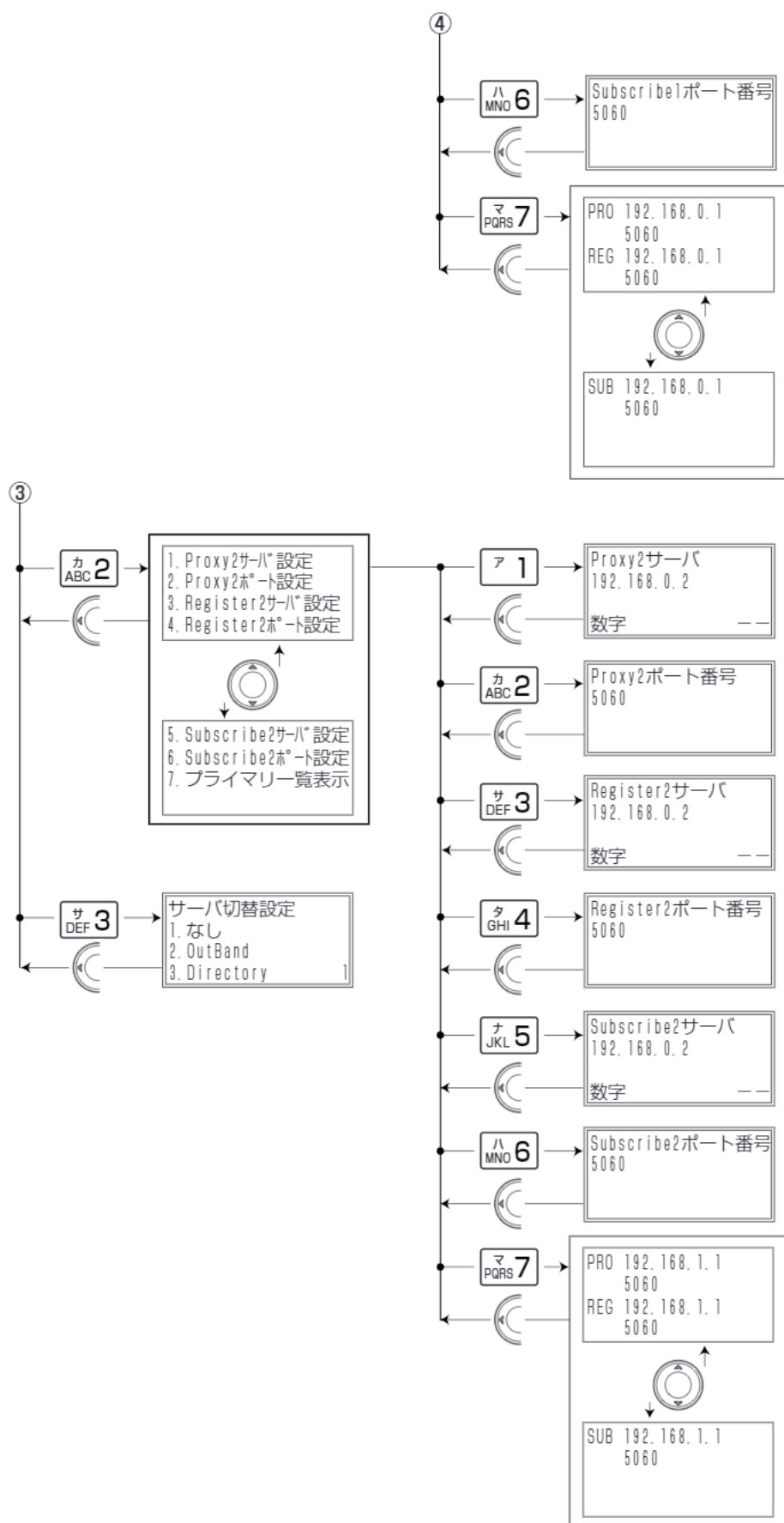
1 メニュー機能を利用する（つづき）



1 メニュー機能を利用する (つづき)



1 メニュー機能を利用する（つづき）



1.2 ネットワーク設定を行う

電話機のメニューから、電話機のIPアドレスなどのネットワーク設定を行います。

例：IPアドレス 「172. 26. 1. 1」
 サブネットマスク 「255. 255. 0. 0」
 デフォルトゲートウェイ 「172. 26. 2. 254」

と設定する場合を例に、以下に説明します。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
9/ 2 TUE 3:40 PM

確定

1 カレンダー／時計表示をしているとき
 [確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
 2. VLAN設定
 3. SIP関連設定
 4. コントラスト調節

ア 1

2 “1（ネットワーク設定）”を選択する

1. DHCP使用
 2. IPアドレス
 3. サブネットマスク
 4. デフォルトGW

ア 1

3 “1（DHCP使用）”を選択する

DHCP使用
 1. 使用しない
 2. 使用する
 2

ア 1

4 “1（使用しない）”を選択する

DHCP使用
 1. 使用しない
 2. 使用する
 1

確定

5 [確定] ボタンを押す
 ● 設定内容が更新され、ネットワーク設定メニュー表示に戻ります。

1. DHCP使用
 2. IPアドレス
 3. サブネットマスク
 4. デフォルトGW

カ
ABC 2

6 “2（IPアドレス）”を選択する

IPアドレス
 92.168.001.001

ア 1 カ 2 サ 3
 タ 4 ナ 5 ハ 6
 マ 7 ヤ 8 ラ 9
 * 0 #

7 IPアドレスを入力する
 ● IPアドレスが「172.026.001.001」のときの入力例です。（ドットは入力しません。）

IPアドレス
 172.026.001.001

1 メニュー機能を利用する（つづき）



8 [確定] ボタンを押す

- 設定内容が更新され、ネットワーク設定メニュー表示に戻ります。

1. DHCP使用
2. IPアドレス
3. サブネットマスク
4. デフォルトGW



9 “3（サブネットマスク）”を選択する

サブネットマスク
255. 255. 255. 000



10 サブネットマスクを入力する

- サブネットマスクが「255.255.000.000」のときの入力例です。（ドットは入力しません。）

サブネットマスク
255. 255. 000. 000



11 [確定] ボタンを押す

- 設定内容が更新され、ネットワーク設定メニュー表示に戻ります。

1. DHCP使用
2. IPアドレス
3. サブネットマスク
4. デフォルトGW



12 “4（デフォルトGW）”を選択する

デフォルトGW
000. 000. 000. 000



13 デフォルトゲートウェイアドレスを入力する

- デフォルトゲートウェイアドレスが「172.026.002.254」のときの入力例です。（ドットは入力しません。）

デフォルトGW
172. 026. 002. 254



14 [確定] ボタンを押す

- 設定内容が更新され、ネットワーク設定メニュー表示に戻ります。

1. DHCP使用
2. IPアドレス
3. サブネットマスク
4. デフォルトGW



15 [◀] ボタンを2回押す

- メニューモードを終了し、次の画面を表示します。

設定が変更されました
再起動が必要です
再起動しますか
1. はい 2. いいえ



16 “1（はい）”を選択し、[確定] ボタンを押す



- ◇操作手順2でパスワード入力画面が表示される場合があります。「2-5 パスワード入力を行う」を参照の上、工事担当者にご相談ください。
- ◇設定値は、全桁入力しないと無効値となります。
- ◇無効値のまま[確定] ボタンを押した場合、エラーとなりエラー音「ピーピーピー」が鳴ります。

1-3 VLAN設定を行う

電話機のメニューから、VLAN設定を行います。

例：VLAN使用	「使用する」
音声VLAN番号	「1000」
音声PRIORITY	「7」
データVLAN番号	「2000」
データPRIORITY	「0」
PCポートタグ	「タグあり」

と設定する場合を例に、以下に説明します。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
9/ 2 TUE 3:40 PM

確定

1 カレンダー／時計表示をしているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節

カ
ABC 2

2 “2（VLAN設定）”を選択する

1: VLAN使用
2: 音声VLAN番号
3: 音声PRIORITY
4: データVLAN番号

ア 1

3 “1（VLAN使用）”を選択する

VLAN使用
1. 使用しない
2. 使用する
||

カ
ABC 2

4 “2（使用する）”を選択する

VLAN使用
1. 使用しない
2. 使用する
2

確定

5 [確定] ボタンを押す
 ● 設定内容が更新され、VLAN設定メニュー表示
 に戻ります。

1: VLAN使用
2: 音声VLAN番号
3: 音声PRIORITY
4: データVLAN番号

カ
ABC 2

6 “2（音声VLAN番号）”を選択する

音声VLAN番号
||

1 メニュー機能を利用する（つづき）



- 7** 音声パケットのVLAN番号を入力する
- VLAN番号が「1000」のときの入力例です。
(1～4094の範囲で設定が可能です。)

音声VLAN番号
1000



- 8** [確定] ボタンを押す
- 設定内容が更新され、VLAN設定メニュー表示に戻ります。

1: VLAN使用
2: 音声VLAN番号
3: 音声PRIORITY
4: データVLAN番号



- 9** “3（音声PRIORITY）”を選択する

音声PRIORITY
7



- 10** 音声パケットのプライオリティを入力する
- PRIORITYが「7」のときの入力例です。
(0～7の範囲で設定が可能です。)

音声PRIORITY
7



- 11** [確定] ボタンを押す
- 設定内容が更新され、VLAN設定メニュー表示に戻ります。

1: VLAN使用
2: 音声VLAN番号
3: 音声PRIORITY
4: データVLAN番号



- 12** “4（データVLAN番号）”を選択する

データVLAN番号
2



- 13** データパケットのVLAN番号を入力する
- VLAN番号が「2000」のときの入力例です。
(1～4094の範囲で設定が可能です。)

データVLAN番号
2000



- 14** [確定] ボタンを押す
- 設定内容が更新され、VLAN設定メニュー表示に戻ります。

1: VLAN使用
2: 音声VLAN番号
3: 音声PRIORITY
4: データVLAN番号



- 15** [▼] ボタンを押す

5: データPRIORITY
6: PCポートタグ
7: 設定値表示

1 メニュー機能を利用する（つづき）

ナ
JKL 5

16 “5（データPRIORITY）”を選択する

データPRIORITY
0

ワ
0

～

マ
PQRS 7

17 データパケットのプライオリティを入力する

- PRIORITYが「0」のときの入力例です。
（0～7の範囲で設定が可能です。）

データPRIORITY
0



18 [確定] ボタンを押す

- 設定内容が更新され、VLAN設定メニュー表示に戻ります。

5: データPRIORITY
6: PCポートタグ
7: 設定値表示

ハ
MNO 6

19 “6（PCポートタグ）”を選択する

PCポートタグ
1. タグなし
2. タグあり
1

カ
ABC 2

20 “2（タグあり）”を選択する

- PCポートタグ「タグあり」のときの入力例です。

PCポートタグ
1. タグなし
2. タグあり
2



21 [確定] ボタンを押す

- 設定内容が更新され、VLAN設定メニュー表示に戻ります。

5: データPRIORITY
6: PCポートタグ
7: 設定値表示



22 [◀] ボタンを2回押す

- メニューモードを終了し、次の画面を表示します。

設定が変更されました
再起動が必要です
再起動しますか
1. はい 2. いいえ 1

ア
1

確定

23 “1（はい）”を選択し、[確定] ボタンを押す



- ◇操作手順2でパスワード入力画面が表示される場合があります。「2-5 パスワード入力を行う」を参照の上、工事担当者にご相談ください。
- ◇無効値のまま[確定] ボタンを押した場合、エラーとなりエラー音「ピーピーピー」が鳴ります。
- ◇VLAN動作については、「2-3 VLAN機能を使用する」(P.54) の例を参照してください。

1-4 SIPアドレスを設定する

電話機のメニューから、SIPアドレスを設定します。
「123Abc」と設定する場合を例に、以下に説明します。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
9/ 2 TUE 3:40 PM

確定

1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節

サ
DEF 3

2 “3（SIP関連設定）”を選択する

1. SIPアドレス表示
2. SIPサーバ表示
3. SIPアドレス設定
4. 認証機能

サ
DEF 3

3 “3（SIPアドレス設定）”を選択する

SIPアドレス設定
数字 —



保 留



4 ダイヤルボタンを使用してSIPアドレス
を入力する

例：123Abc



- [クリア] ボタンで直前の一文字を削除することができます。

クリア

確定

5 [確定] ボタンを押す
• 入力した内容で設定され、操作手順2の画面に戻ります。

1. SIPアドレス表示
2. SIPサーバ表示
3. SIPアドレス設定
4. 認証機能

1 メニュー機能を利用する（つづき）



6 [◀] ボタンを2回押す

- メニューモードを終了し、次の画面を表示します。

設定が変更されました
再起動が必要です
再起動しますか
1. はい 2. いいえ



7 “1（はい）”を選択し、[確定] ボタンを押す



補 足

- ◇設定は最大64桁まで入力できます。何も入力せずに[確定] ボタンを押した場合、エラー音「ピーピーピー」が鳴ります。
- ◇設定を変更する場合は1桁目から入力してください。部分的な編集をすることはできません。
- ◇操作手順3でパスワード入力画面が表示される場合があります。「2-5. パスワード入力を行う」を参照の上、工事担当者にご相談ください。

1-5 認証機能を設定する

電話機のメニューから、認証機能を設定します。

ユーザID：「user100」、パスワード：「98765」と設定する場合を例に、以下に説明します。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
9/ 2 TUE 3:40 PM

確定

1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節

サ
DEF **3**

2 “3（SIP関連設定）” を選択する

1. SIPアドレス表示
2. SIPサーバ表示
3. SIPアドレス設定
4. 認証機能

タ
GHI **4**

3 “4（認証機能）” を選択する

認証機能
1. 使用しない
2. 使用する
1

カ
ABC **2**

4 “2（使用する）” を選択する
・ “1（使用しない）” を選択した場合は、操作手
順2の画面に戻ります。

認証機能
1. 使用しない
2. 使用する
2

確定

5 [確定] ボタンを押す

ユーザID
英小

1 メニュー機能を利用する（つづき）



6 ダイヤルボタンを使用してユーザIDを入力する

例：user100



- [クリア] ボタンで直前の一文字を削除することができます。



ユーザID	
user100	
数字	--



7 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、パスワード設定画面に遷移します。

パスワード	
英小	--



8 ダイヤルボタンを使用してパスワードを入力する

例：98765



- [クリア] ボタンで直前の一文字を削除することができます。



パスワード	
98765	
英小	--



9 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順2の画面に戻ります。

1. SIPアドレス表示
2. SIPサーバ表示
3. SIPアドレス設定
4. 認証機能



10 [◀] ボタンを2回押す

- メニューモードを終了し、次の画面を表示します。

設定が変更されました 再起動が必要です 再起動しますか
1. はい 2. いいえ



11 “1（はい）”を選択し、[確定] ボタンを押す

補足

- ◇ユーザIDは最大64桁まで、パスワードは最大32桁まで入力できます。
- ◇設定を変更する場合は1桁目から入力してください。部分的な編集をすることはできません。
- ◇操作手順3でパスワード入力画面が表示される場合があります。「2-5. パスワード入力を行う」を参照の上、工事担当者にご相談ください。

1-6 ディスプレイネームを設定する

電話機のメニューから、ディスプレイネームを設定します。
「name100」と設定する場合を例に、以下に説明します。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
9/ 2 TUE 3:40 PM

確定

1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節

サ
DEF **3**

2 “3（SIP関連設定）” を選択する

1. SIPアドレス表示
2. SIPサーバ表示
3. SIPアドレス設定
4. 認証機能



3 [▼] ボタンを押す

5. ディスプレイネーム
6. サーバ設定

ナ
JKL **5**

4 “5（ディスプレイネーム）” を選択する

ディスプレイネーム
■

英小



保 留



5 ダイヤルボタンを使用してユーザIDを入力する

例：name100

ハ MNO **6** ▶ ハ MNO **6** ▶ ハ MNO **6** ▶ サ DEF **3**
(m) n (確定) a (確定) m (確定) (d)
サ DEF **3** ▶ 保 留 保 留 ア 1 0 0
e (確定) (英大) (数字) 1 0 0

● [クリア] ボタンで直前の一文字を削除することができます。

クリア

ディスプレイネーム
name100■

数字

1 メニュー機能を利用する（つづき）



6 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順3の画面に戻ります。

5. ディスプレイネーム
6. サーバ設定



7 [◀] ボタンを2回押す

- メニューモードを終了し、次の画面を表示します。

設定が変更されました
再起動が必要です
再起動しますか
1. はい 2. いいえ Ⅱ



8 “1（はい）”を選択し、[確定] ボタンを押す



補 足

- ◇設定は最大20桁まで入力できます。
- ◇設定を変更する場合は1桁目から入力してください。部分的な編集をすることはできません。
- ◇操作手順4でパスワード入力画面が表示される場合があります。「2-5. パスワード入力を行う」を参照の上、工事担当者にご相談ください。

1.7 サーバ設定する

電話機のメニューから、サーバ設定します。

なお、説明はプライマリ設定とサーバ切替設定のみとします。セカンダリ設定はプライマリ設定と同様の操作手順で行ってください。

例：Proxy1サーバ : 192.168.0.1
 Proxy1ポート番号 : 5061
 Register1サーバ : 192.168.0.1
 Register1ポート番号 : 5060
 Subscribe1サーバ : 192.168.0.1
 Subscribe1ポート番号 : 5060
 サーバ切替設定 : 3 (Directory)

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
9/ 2 TUE 3:40 PM



1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節



2 “3 (SIP関連設定)”を選択する

1. SIPアドレス表示
2. SIPサーバ表示
3. SIPアドレス設定
4. 認証機能



3 [▼] ボタンを押す

5. ディスプレイネーム
6. サーバ設定



4 “6 (サーバ設定)”を選択する

1. プライマリ設定
2. セカンダリ設定
3. サーバ切替設定



5 “1 (プライマリ設定)”を選択する

1. Proxy1サーバ 設定
2. Proxy1ポート設定
3. Register1サーバ 設定
4. Register1ポート設定

1 メニュー機能を利用する（つづき）

ア 1

6 “1（Proxyサーバ設定）”を選択する

- 本設定が未設定で、既にRegister1サーバ設定を行っている場合はRegister1サーバと同値が表示されます。

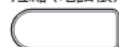
Proxyサーバ

数字

--



短縮（電話帳）



7 ダイヤルボタンなどを使用してProxyサーバを入力する

例：192.168.0.1



- [クリア] ボタンで直前の一文字を削除することができます。
- 表示されている設定内容で変更がない場合は操作手順8から行います。

クリア

Proxyサーバ

192.168.0.1

数字

--

確定

8 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順5の画面に戻ります。

1. Proxyサーバ 設定
2. Proxyポート設定
3. Register1サーバ 設定
4. Register1ポート設定

カ 2

9 “2（Proxyポート設定）”を選択する

Proxyポート番号

5060



10 ダイヤルボタンを使用してProxyポート番号を入力する

例：5061



- [クリア] ボタンを押すと、以前の値に戻ります。
- 表示されている設定内容で変更がない場合は操作手順11から行います。

クリア

Proxyポート番号

5061

確定

11 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順5の画面に戻ります。

1. Proxyサーバ 設定
2. Proxyポート設定
3. Register1サーバ 設定
4. Register1ポート設定

1 メニュー機能を利用する（つづき）

サ
DEF 3

12 “3（Register1サーバ設定）”を選択する

- 本設定が未設定で、既にProxy1サーバ設定を行っている場合はProxy1サーバと同値が表示されます。

Register1サーバ
数字 —

ア 1 カ ABC 2 サ DEF 3
タ 4 チ 5 ハ MNO 6
マ 7 ヤ 8 ラ WXYZ 9
＊ 0 #

短縮（電話帳）

13 ダイヤルボタンなどを使用して Register1サーバを入力する

例：192.168.0.1

ア 1 ラ WXYZ 9 カ ABC 2 知照（電話帳） ア 1 ハ MNO 6 ヤ TUV 8
1 9 2 1 6 8
知照（電話帳） 0 知照（電話帳） ア 1
0 1

- [クリア] ボタンで直前の一文字を削除することができます。
- 表示されている設定内容で変更がない場合は操作手順14から行います。

クリア

Register1サーバ
192.168.0.1
数字 —

確定

14 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順5の画面に戻ります。

1. Proxy1サーバ設定
2. Proxy1ポート設定
3. Register1サーバ設定
4. Register1ポート設定

タ
GHI 4

15 “4（Register1ポート設定）”を選択する

Register1ポート番号
5060

ア 1 カ ABC 2 サ DEF 3
タ 4 チ 5 ハ MNO 6
マ 7 ヤ 8 ラ WXYZ 9
＊ 0 #

16 ダイヤルボタンを使用して Register1ポート番号を入力する

例：5060

ナ JKL 5 0 ハ MNO 6 0
5 0 6 0

- [クリア] ボタンを押すと、以前の値に戻ります。
- 表示されている設定内容で変更がない場合は操作手順17から行います。

クリア

Register1ポート番号
5060

確定

17 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順5の画面に戻ります。

1. Proxy1サーバ設定
2. Proxy1ポート設定
3. Register1サーバ設定
4. Register1ポート設定



18 [▼] ボタンを押す

5. Subscribelサーバ 設定
6. Subscribelポート設定
7. プライマリー一覧表示



19 “5（Subscribelサーバ設定）”を選択する

Subscribelサーバ

数字

--

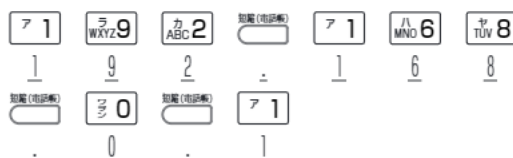


短縮（電話帳）



20 ダイヤルボタンなどを使用して Subscribelサーバを入力する

例：192.168.0.1



- [クリア] ボタンで直前の一文字を削除することができます。
- 表示されている設定内容で変更がない場合は操作手順21から行います。



Subscribelサーバ
192.168.0.1

数字

--



21 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順18の画面に戻ります。

5. Subscribelサーバ 設定
6. Subscribelポート設定
7. プライマリー一覧表示



22 “6（Subscribelポート設定）”を選択する

Subscribelポート番号
5060



23 ダイヤルボタンを使用して Subscribelポート番号を入力する

例：5060



- [クリア] ボタンを押すと、以前の値に戻ります。
- 表示されている設定内容で変更がない場合は操作手順24から行います。



Subscribelポート番号
5060

1 メニュー機能を利用する（つづき）



24 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順18の画面に戻ります。

5. Subscribeサーバ設定
6. Subscribeポート設定
7. プライマリー一覧表示



25 [◀] ボタンを押す

- 操作手順4の画面に戻ります。

1. プライマリ設定
2. セカンダリ設定
3. サーバ切替設定

26 セカンダリサーバ設定を行う場合は、 操作手順5～24と同様な手順で設定する



27 “3（サーバ切替設定）” を選択する

サーバ切替設定
1. なし
2. OutBand
3. Directory 1



28 “3（Directory）” を選択する

サーバ切替設定
1. なし
2. OutBand
3. Directory 3



29 [確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順25の画面に戻ります。

1. プライマリ設定
2. セカンダリ設定
3. サーバ切替設定



30 [◀] ボタンを3回押す

- メニューモードを終了し、次の画面を表示します。

設定が変更されました
再起動が必要です
再起動しますか
1. はい 2. いいえ 1



31 “1（はい）” を選択し、[確定] ボタンを押す



補足

- ◇サーバ設定は最大64桁まで、ポート設定は1～65535まで入力できます。
- ◇設定を変更する場合は1桁目から入力してください。部分的な編集をすることはできません。
- ◇操作手順4でパスワード入力画面が表示される場合があります。「2-5. パスワード入力を行う」を参照の上、工事担当者にご相談ください。

1-8 カレンダ／時計を設定する

電話機のメニューから、カレンダと時計を設定します。

「2005年9月2日 金曜日 午後3時40分」と設定する場合を例に、以下に説明します。

▼操作手順

カレンダ／時計表示画面

1000
1/ 1 SAT 0:00 AM



1 カレンダ／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節



2 [▼] ボタンを押す

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連

ナ 5
JKL

3 “5（電話機関連設定）”を選択する

1. カレンダ設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保存
4. ユーザ設定初期化

ア 1

4 “1（カレンダ設定）”を選択する

カレンダ設定
05年01月01日
午前12時00分

ア 1 カ 2 サ 3
GHI 4 ナ 5 ハ 6
MNO 7 テ 8 ワ 9
＊ 0 #

5 年月日（西暦）を入力する

- 例、2005年9月2日の場合“050902”と入力します。

カレンダ設定
05年09月02日
午前12時00分
1:午前 2:午後

ア 1

6 午前、午後を選択する

- 1：午前 2：午後
- 例、午後の場合“2”を入力します。

カレンダ設定
05年09月02日
午後12時00分

カ 2
ABC

ア 1 カ 2 サ 3
GHI 4 ナ 5 ハ 6
MNO 7 テ 8 ワ 9
＊ 0 #

7 時刻を12時間制で入力する

- 例、3時40分の場合“0340”と入力します。
- 設定内容を修正するときは、手順8にいきます。

カレンダ設定
05年09月02日
午後03時40分

1 メニュー機能を利用する（つづき）



確定



クリア



8 設定内容が正しいときは、[確定] ボタンを押す

- 入力した内容で設定され、操作手順3の画面に戻ります。
- 設定内容を修正するときは、[クリア] ボタンを押して、操作手順5からやり直してください。（[クリア] ボタンを押すと設定した内容は、以前の値に戻ります。）

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保存
4. ユーザ設定初期化

9 [◀] ボタンを2回押し、メニューを終了する

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連

1000
9/ 2 FRI 3:40 PM

補 足

- ◇設定値は、全桁入力しないと無効値となります。
- ◇無効値のまま [確定] ボタンを押した場合、エラーとなりエラー音「ピーピー」が鳴ります。
- ◇年号の入力は、閏年を合わせるため正しく行ってください。
- ◇曜日は自動で計算されます。
- ◇電源を「OFF」にするとカレンダー／時計設定は初期化されます。

1-9 エコーキャンセラー設定の変更

エコーキャンセラー設定の変更するときは、[確定] ボタンを押して、「エコーキャンセラー設定」を行います。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
8/30 SAT 3:45 PM



1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節



2 [▼] ボタンを押す

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連



3 “5（電話機関連設定）”を選択する

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保存
4. ユーザ設定初期化



4 “2（エコーキャンセラー）”を選択する

エコーキャンセラー
1. 使用しない
2. 使用する
2



5 “1（使用しない）”を選択する

エコーキャンセラー
1. 使用しない
2. 使用する
1



6 [確定] ボタンを押す
● 保存が完了すると、操作手順3のメニュー画面に戻ります。

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保存
4. ユーザ設定初期化



7 [◀] ボタンを2回押し、メニューを終了する

1-10 音量・LCDコントラストの設定値保存

変更した音量やLCDコントラスト設定を保存するには、[確定] ボタンを押して、「音量／濃淡設定保存」を行います。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面



1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節



2 [▼] ボタンを押す

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連



3 “5（電話機関連設定）”を選択する

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保存
4. ユーザ設定初期化



4 “3（音量／濃淡設定保存）”を選択する

- 音量／濃淡設定保存
1. キャンセル
 2. 更新する



5 “2（更新する）”を選択する

- 音量／濃淡設定保存
1. キャンセル
 2. 更新する



6 [確定] ボタンを押す
● 保存が完了すると、操作手順3のメニュー画面に戻ります。

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保存
4. ユーザ設定初期化



7 [◀] ボタンを2回押し、メニューを終了する

補足

運用中の設定値を保存すると、次回起動時に保存した設定値で電話機をご利用できます。

1-11 フレキシブルオートキー割付設定を確認する

電話機のメニューから、フレキシブルオートキーの割付設定を確認できます。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
8/30 SAT 3:45 PM

-  **1** カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節

-  **2** “5（電話機関連設定）”を選択する

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保持
4. ユーザ設定初期化

-  **3** [▼] ボタンを押す

5. FK割付一覧表示
6. ヘッドセット設定
7. マイク制御設定

-  **4** “5（FK割付一覧表示）”を選択する
- [▲] [▼] キーを押すことにより、フレキシブルオートキーの割付状況を確認することができます。
 - 確認したいフレキシブルオートキーを押すことにより、そのキーを頭出し選択表示することもできます。

01:パーク保留
02:コールバックアップ
03:外線
04:音声メール

-  **5** [確定] ボタンを押す
- カーソル選択位置のキー詳細情報が表示されます。

01:パーク保留
abcdefg

-  **6** [◀] ボタンを4回押し、メニューを終了する

1-12 ヘッドセット設定する

電話機のメニューから、ヘッドセットの使用有無を設定します。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
8/30 SAT 3:45 PM

-  **1** カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節

-  **2** “5（電話機関連設定）”を選択する

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保持
4. ユーザ設定初期化

-  **3** [▼] ボタンを押す

5. FK割付一覧表示
6. ヘッドセット設定
7. マイク制御設定

-  **4** “6（ヘッドセット設定）”を選択する

ヘッドセット設定
1. 使用しない
2. 使用する
1

-  **5** “2（使用する）”を選択する

ヘッドセット設定
1. 使用しない
2. 使用する
2

-  **6** [確定] ボタンを押す
• 入力した内容で設定され、操作手順3の画面に戻ります。

5. FK割付一覧表示
6. ヘッドセット設定
7. マイク制御設定

1 メニュー機能を利用する（つづき）



7 [◀] ボタンを2回押す

- メニューモードを終了し、次の画面を表示します。

設定が変更されました
再起動が必要です
再起動しますか
1. はい 2. いいえ

ア 1



8 “1（はい）”を選択し、[確定] ボタンを押す

補足

操作手順4でパスワード入力画面が表示される場合があります。「2-5.パスワード入力を行う」を参照の上、工事担当者にご相談ください。

1-13 マイク制御設定する

電話機のメニューから、マイクを制御する方式を設定します。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面



- 1** カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節



- 2** “5（電話機関連設定）”を選択する

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保持
4. ユーザ設定初期化



- 3** [▼] ボタンを押す

5. FK割付一覧表示
6. ヘッドセット設定
7. マイク制御設定



- 4** “7（マイク制御設定）”を選択する

- マイク制御設定
1. 手動
 2. 自動
- 1**



- 5** “2（自動）”を選択する

- マイク制御設定
1. 手動
 2. 自動
- 2**



- 6** [確定] ボタンを押す
- ・入力した内容で設定され、操作手順3の画面に戻ります。

5. FK割付一覧表示
6. ヘッドセット設定
7. マイク制御設定



- 7** [◀] ボタンを2回押し、メニューを終了する

1-14 電話帳の登録／編集を行う

1-14-1 新規登録を行う

電話機のメニューから電話帳のデータを登録します。

(例) 電話番号 「1 2 3 4」
 発信時特番付加 「する」
 表示名 「スズキ シロウ」

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
 8/30 SAT 3:45 PM

 **1** カレンダー／時計を表示しているとき
 [確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
 2. VLAN設定
 3. SIP関連設定
 4. コントラスト調節

 **2** [▼] ボタンを押す

5. 電話機関連設定
 6. 電話帳設定
 7. ローカル保守
 8. 管理用PC関連

 **3** “6（電話帳設定）”を選択する

未来産業
 未来産業 営業部
 未来産業 技術部
 山田 太郎

 **4** [確定] ボタンを押す

1. 新規登録
 2. 編集
 3. 削除
 4. 発信履歴登録

 **5** “1（新規登録）”を選択する

電話番号入力

1 メニュー機能を利用する（つづき）



6 電話番号を入力する

電話番号入力
1234



7 [確定] ボタンを押す

発信時特番付加
1. しない
2. する
1



8 “2（する）”を選択する

発信時特番付加
1. しない
2. する
2



9 [確定] ボタンを押す

表示名称入力
カナ



10 ダイヤルボタンを使用して表示名を入力する

例：スズキ



- [▶] ボタンで一文字を確定させることができます。
- [クリア] ボタンで直前の一文字を削除することができます。



表示名称入力
スズキ ロウ
カナ



11 [確定] ボタンを押す

- 短縮番号を登録しない場合は、操作手順13に進みます。

短縮番号入力



12 短縮番号2桁（00～99）を入力する

短縮番号入力
10

1 メニュー機能を利用する（つづき）



13 [確定] ボタンを押す

- 短縮番号が既に登録されている場合は、上書き確認表示をします。
上書きを行わない場合は、別の短縮番号を入力してください。
- ワンタッチ番号を登録しない場合は、操作手順15に進みます。

ワンタッチ番号入力



14 ワンタッチ番号2桁（01～30）を入力する

ワンタッチ番号入力

01



15 [確定] ボタンを押す

- ワンタッチ番号が既に登録されている場合は、上書き確認表示をします。
上書きを行わない場合は、別のワンタッチ番号を入力してください。

スス キジ ロウ

未来産業

未来産業 営業部

未来産業 技術部



16 [◀] ボタンを2回押し、メニューを終了する

補足

- ◇電話機からの登録は、表示名の漢字変換はできません。漢字で登録を行う場合は、パソコンが必要になります。詳しくは「2-1-2 電話帳データを編集する」(P.48)を参照してください。
- ◇表示名は最大10桁まで入力できます。詳しくは「2-2-2 ダイヤルボタン毎の入力文字一覧表」(P.53)を参照してください。
- ◇特番の設定を変更する場合は、工事担当者に連絡してください。
- ◇電話帳に空きがない場合は、新規登録できません。

1-14-2 登録情報を編集する

（例） 表示名の修正

「スズ キジ ロウ」 → 「スズ キサブ ロウ」

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
8/30 SAT 3:45 PM



1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節



2 [▼] ボタンを押す

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連



3 “6（電話帳設定）”を選択する

スズ キジ ロウ
未来産業
未来産業 営業部
未来産業 技術部



4 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンで編集を行う登録情報を選択する
※ダイヤルボタンを使用して頭出し検索を行えます。
※ [▶] ボタンで詳細情報が確認できます。

スズ キジ ロウ
未来産業
未来産業 営業部
未来産業 技術部



5 [確定] ボタンを押す

1234
スズ キジ ロウ
スズ キジ ロウ

1. 新規登録
2. 編集
3. 削除
4. 発信履歴登録



6 “2（編集）”を選択する
● 登録件数が0件の場合は選択できません。

電話番号入力
1234

1 メニュー機能を利用する（つづき）



7 [確定] ボタンを押す

発信時特番付加

1. しない
2. する

2



8 [確定] ボタンを押す

表示名称入力

スズ キジ ロウ

カナ



9 ダイヤルボタンを使用して表示名を修正する

表示名称入力

スズ キサブ ロウ

カナ



10 [確定] ボタンを押す

- 登録されている短縮番号を変更しない場合は、操作手順11に進みます。
- 別の短縮番号を入力した場合、その短縮番号が既に登録されていると、上書き確認表示をします。
- 短縮番号を削除する場合は [クリア]  ボタンを2回押してください。

短縮番号入力

10



11 [確定] ボタンを押す

- 登録されているワンタッチ番号を変更しない場合は、操作手順12に進みます。
- 別のワンタッチ番号を入力した場合、そのワンタッチ番号が既に登録されていると、上書き確認表示をします。
- ワンタッチ番号を削除する場合は [クリア]  ボタンを2回押してください。

ワンタッチ番号入力

01



12 [確定] ボタンを押す

スズ キサブ ロウ

未来産業

未来産業 営業部

未来産業 技術部



13 [◀] ボタンを2回押し、メニューを終了する

補 足

- ◇ 電話機からの登録は、表示名の漢字変換はできません。漢字で登録を行う場合は、パソコンが必要になります。詳しくは「2-1-2 電話帳データを編集する」(P.48)を参照してください。
- ◇ 電話番号、表示名、短縮番号はファーストダイヤル入力すると表示されている情報がクリアされます。

1-14-3 登録情報を削除する

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面



1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確認] ボタンを押す

1000
8/30 SAT 3:45 PM

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節



2 [▼] ボタンを押す

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連



3 “6（電話帳設定）”を選択する

スズ キサブ ロー
未来産業
未来産業 営業部
未来産業 技術部



4 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンで削除する登録情報を選択する

※ダイヤルボタンを使用して頭出し検索を行えます。

※ [▶] ボタンで詳細情報が確認できます。

スズ キサブ ロー
未来産業
未来産業 営業部
未来産業 技術部



1234

スズ キサブ ロー
スズ キサブ ロー



5 [確認] ボタンを押す

1. 新規登録
2. 編集
3. 削除
4. 発信履歴登録



6 “3（削除）”を選択する

削除しますか？
1. いいえ
2. はい

1

1 メニュー機能を利用する（つづき）



7 “2（はい）”を選択する

削除しますか？

1. いいえ

2. はい

2



8 [確定] ボタンを押す

未来工業

未来産業

未来産業 営業部

未来産業 技術部



9 [◀] ボタンを2回押し、メニューを終了する



一度削除したデータは元に戻りません。
十分注意してから削除してください。

1-14-4 発信／着信履歴を使用して新規登録する

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
8/30 SAT 3:45 PM



1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節



2 [▼] ボタンを押す

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連

ハ
MNO **6**

3 “6（電話帳設定）”を選択する

未来工業
未来産業
未来産業 営業部
未来産業 技術部



4 [確定] ボタンを押す

1. 新規登録
2. 編集
3. 削除
4. 発信履歴登録

タ
GHI **4**

または

ナ
JKL **5**

5 “4（発信履歴登録）”または“5（着信履歴登録）”を選択する

- 履歴がない場合は選択できません。

発歴01 08/30 3:30 PM
117



6 [▲] ボタンまたは [▼] ボタンで登録を行う履歴を選択する

発歴01 08/30 3:30 PM
2000



7 [確定] ボタンを押す

表示名称入力
2000
カナ

1 メニュー機能を利用する（つづき）



8 ダイヤルボタンを使用して表示名を入力する

例：スズキ



- [▶] ボタンで一文字を確定させることができます。
- [クリア] ボタンで直前の一文字を削除することができます。

表示名称入力
スズキ ロウ

カナ



9 [確定] ボタンを押す

- 短縮番号を登録しない場合は、操作手順11に進みます。

短縮番号入力



10 短縮番号2桁（00～99）を入力する



11 [確定] ボタンを押す

- 短縮番号が既に登録されている場合は、上書き確認表示をします。
上書きを行わない場合は、別の短縮番号を入力してください。
- ワンタッチ番号を登録しない場合は、操作手順13に進みます。

短縮番号入力

10

ワンタッチ番号入力



12 ワンタッチ番号2桁（01～30）を入力する



13 [確定] ボタンを押す

- ワンタッチ番号が既に登録されている場合は、上書き確認表示をします。
上書きを行わない場合は、別のワンタッチ番号を入力してください。

ワンタッチ番号入力

01

スズキ ロウ

未来産業

未来産業 営業部

未来産業 技術部



14 [◀] ボタンを2回押し、メニューを終了する

補足

- ◇発信履歴登録の場合、表示名は電話番号を取り込みます。
- ◇着信履歴登録の場合、表示名はディスプレイネームを取り込みます。

1-15 設定データを出荷時設定に戻すには

ユーザデータ、電話帳データを出荷時設定に戻すことができます。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
8/30 SAT 3:45 PM

 **1** カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節

 **2** [▼] ボタンを押す

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連

 **3** “5（電話機関連設定）”を選択する

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保存
4. ユーザ設定初期化

 **4** “4（ユーザ設定初期化）”を選択する

ユーザ設定初期化
1. キャンセル
2. 初期化する
1

 **5** “2（初期化する）”を選択する

ユーザ設定初期化
1. キャンセル
2. 初期化する
2

 **6** [確定] ボタンを押す
● 初期化が終了すると、操作手順3のメニュー画面に戻ります。

1. カレンダー設定
2. エコーキャンセラー
3. 音量／濃淡設定保存
4. ユーザ設定初期化

 **7** [◀] ボタンを2回押し、メニューを終了する

補足

- ◇初期設定については、「2-1 設定ファイル編集」の「設定データ一覧」(P.46)を参照してください。
- ◇カレンダー／時計の内容は初期化されません。

1-16 ローカル保守を行う

1-16-1 電話機をローカル保守モードにする

ファイルのアップロード、ダウンロードを行うためには、[確定] ボタンを押して、電話機をローカル保守モードにします。

▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1000
8/30 SAT 3:45 PM



1 カレンダー／時計を表示しているとき
[確定] ボタンを押す

1. ネットワーク設定
2. VLAN設定
3. SIP関連設定
4. コントラスト調節



2 [▼] ボタンを押す

5. 電話機関連設定
6. 電話帳設定
7. ローカル保守
8. 管理用PC関連



3 “7（ローカル保守）”を選択する

※SIPサーバへの登録削除を行っていますので、
数秒から数十秒かかることがあります。

登録削除中

●SIPサーバへの登録削除が完了するとローカル
保守モードになります

ローカル保守

1-16-2 ファイルをダウンロードする

FTPを使用して、パソコンから電話機へファイルを送出します。

ダウンロード可能なファイルは以下の2種類です

- bip_userXXXX.ini : ユーザ設定ファイル
- bip_dialXXXX.csv : 電話帳データファイル
(XXXXは任意)

<ダウンロード手順>

パソコンのCドライブの「bip」というフォルダにユーザ設定ファイル「bip_user.ini」が保存されている場合を例にダウンロード手順を説明します。

[電話機の設定]

- ◆ IPアドレスが「192.168.1.1」であるとしします。(初期設定)
- ◆ ログイン名が「user」であるとしします。(初期設定)
- ◆ パスワードが「user」であるとしします。(初期設定)

▼電話機側操作

- 1** 電話機をローカル保守モードにします
(「1-16-1 電話機をローカル保守モードにする」(P.41) 参照)

ローカル保守

▼パソコン側操作

- 2** パソコンのMS-DOSプロンプトを起動します

```
c:\bip>
```

- 3** FTPを起動するため、「ftp 192.168.1.1」と入力します

```
c:\bip>ftp 192.168.1.1
```

- 4** [Enter] キーを押します。

```
c:\bip>ftp 192.168.1.1
Connected to 192.168.1.1
220 BIP(01.00.00.0) FTP server ready.
Name (192.168.1.1:(none)):
```

- 5** ログインネーム「user」を入力し、[Enter] キーを押します

```
220 BIP(01.00.00.0) FTP server ready.
Name (192.168.1.1:(none)):user
331 Password required for user.
Password:
```

1 メニュー機能を利用する（つづき）

▼電話機側操作

ローカル保守
待機中

ローカル保守
Download実行中



ローカル保守
Download完了

ローカル保守

10 [◀] ボタンを2回押し、ローカル保守モードを終了します。

▼パソコン側操作

6 パスワード「user」を入力し、[Enter] キーを押します

```
331 Password required for user.  
Password:  
230 User user logged in.  
ftp>
```

7 「put bip_user.ini」と入力します

```
331 Password required for user.  
Password:  
230 User user logged in.  
ftp> put bip_user.ini
```

8 [Enter] キーを押すとダウンロードを開始します

```
331 Password required for user.  
Password:  
230 User user logged in.  
ftp> put bip_user.ini  
200 PORT command successful.  
150 Opening ASCII mode data connection for bip_user.ini
```



```
200 PORT command successful.  
150 Opening ASCII mode data connection for bip_user.ini  
226 Transfer complete.  
ftp: 96 bytes sent in 0.112Seconds 857bytes/sec.  
ftp>
```



ダウンロードに失敗したときは、操作手順7からやり直してください。

9 FTPからログアウトするため、「bye」と入力したあと [Enter] キーを押します

```
ftp>bye  
c:¥bip>
```


1-16-3 ファイルをアップロードする

FTPを使用して、電話機からパソコンへファイルを取り込みます。

アップロード可能なファイルは以下の2種類です

- bip_userXXXX.ini : ユーザ設定ファイル
- bip_dialXXXX.csv : 電話帳データファイル
(XXXXは任意)

<アップロード手順>

パソコンのCドライブの「bip」というフォルダに設定データ「bip_user.ini」を保存する場合を例にアップロード手順を説明します。

[電話機の設定]

- ◆ IPアドレスが「192.168.1.1」としてします。(初期設定)
- ◆ ログイン名が「user」としてします。(初期設定)
- ◆ パスワードが「user」としてします。(初期設定)

▼電話機側操作

ローカル保守
待機中

ローカル保守
Upload実行中



ローカル保守
Upload完了

▼パソコン側操作

1 「1-16-2 ファイルをダウンロードする」(P.42) の操作手順6までを行います

```
331 Password required for bip.
Password:
230 User user logged in.
ftp>
```

2 「get bip_user.ini」と入力します

```
331 Password required for bip.
Password:
230 User user logged in.
ftp>get bip_user.ini
```

3 [Enter] キーを押すとアップロードを開始します

```
ftp>get bip_user.ini
200 PORT command successful.
150 Opening ASCII mode data connection for bip_user.ini.
```



```
ftp>get bip_user.ini
200 PORT command successful.
150 Opening ASCII mode data connection for bip_user.ini.
226 Transfer complete.
96 bytes received in 0.196seconds (489bytes/sec.)
ftp>
```

1 メニュー機能を利用する（つづき）

▼電話機側操作

ローカル保守

- 5** [◀] ボタンを2回押し、ローカル保守モードを終了します

▼パソコン側操作

- 4** FTPからログアウトするため、「bye」と入力したあと [Enter] キーを押します

```
ftp>bye  
c:¥bip>
```



アップロードに失敗したときは、操作手順2からやり直してください。

2 付録

2-1 設定ファイル編集

2-1-1 ユーザデータを編集する

ユーザデータ設定の手順を以下に示します。

- ① 正しいネットワーク設定がされた電話機のLANポートとパソコンをLANケーブルで接続します。
- ② FTPを使ってパソコンへシステム設定ファイルをアップロードします。
※アップロード手順については、「1-16-3 ファイルをアップロードする」(P.44)を参照してください。
- ③ パソコンに取り込んだユーザ設定ファイルの必要な箇所をテキストエディタで編集します。
- ④ 編集が完了したシステム設定ファイルを、FTPを使って電話機へダウンロードします。
※ダウンロード手順については、「1-16-2 ファイルをダウンロードする」(P.42)を参照してください。
- ⑤ ダウンロードを完了し、ローカル保守モードを終了すると利用できる状態となります。

◆設定データ一覧

セクション	キー	設 定 内 容	初期設定
FTP	User ID	FTPログイン名 3～32文字（半角英数字）	user
	Password	FTPログインパスワード 3～32文字（半角英数字）	user
TEL	LCD	輝度コントラスト 1～8	4
	Ringer	着信音量 0～8（0はミュート）	4
	SP	スピーカ受話音量 1～8	4
	HS	ハンドセット受話音量 1～8	4
	EC	エコーキャンセラーを機能設定 （ハンドセット使用時） 0：エコーキャンセラーを使用しない 1：エコーキャンセラーを使用する	1：使用する
	MicCtrl	マイクON/OFF制御設定 0：手動制御 1：自動制御	0：手動制御

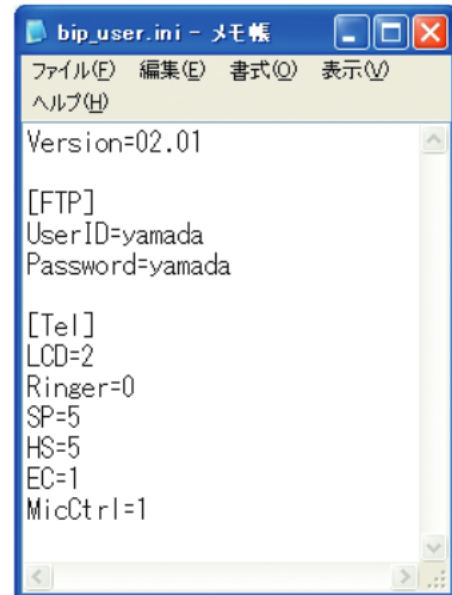


◇設定を変更する必要のない項目は初期設定のままにしてください。
◇設定値は半角英数記号の0～9、A～Z、a～z、*、#、.(ピリオド)、
_(アンダーバー)、@ が有効です。

◆ユーザデータのフィールド

【設定例】

設定内容	設定値
FTPログイン名	yamada
FTPログインパスワード	yamada
輝度コントラスト	2
着信音量	0（ミュート）
スピーカ受話音量	5
ハンドセット受話音量	5
エコーキャンセラー	1：使用する
マイクON/OFF制御設定	1：自動制御

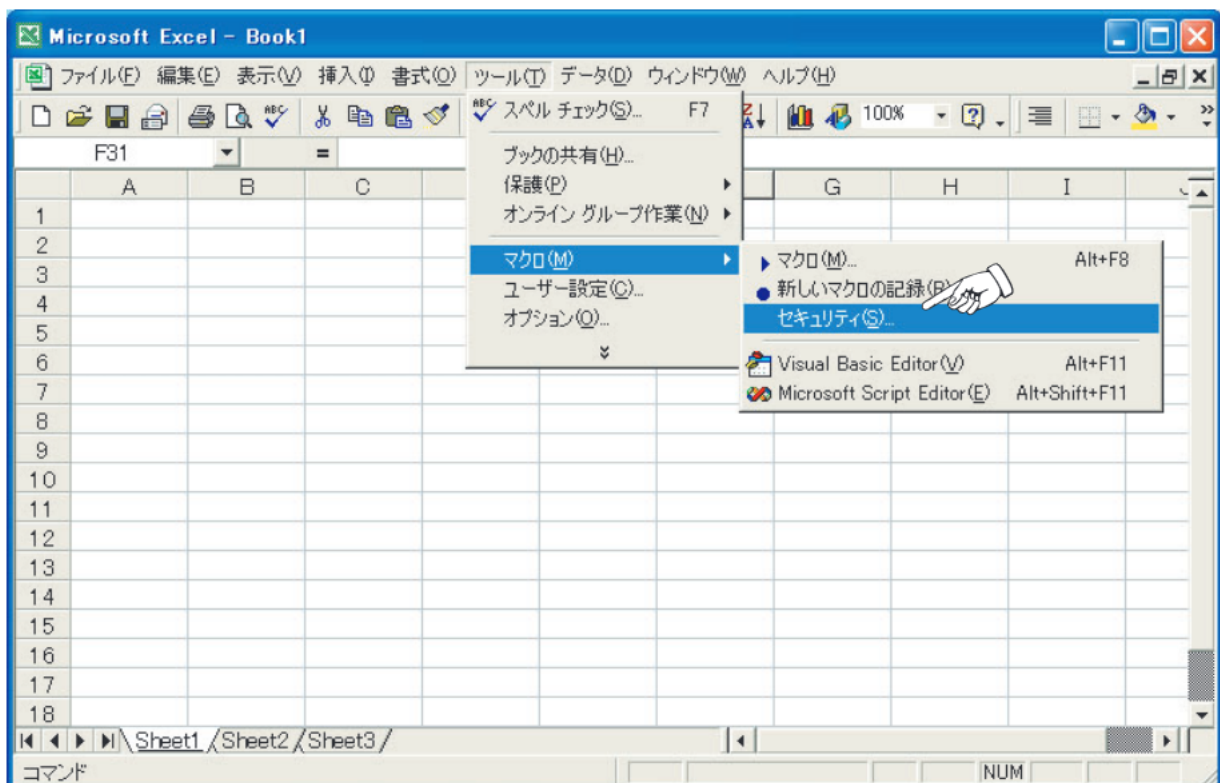


2-1-2 電話帳データを編集する

電話帳データの編集は、Microsoft® Excelで行います。編集する前にあらかじめ次の作業を行ってください。

- ① Microsoft® Excelを起動し、「ツール」メニューの「マクロ」→「セキュリティ」を選択します。

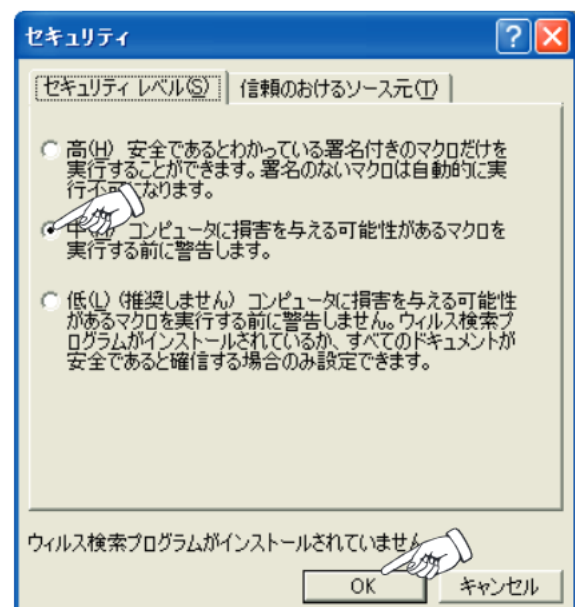
注) Microsoft® Excel 2000以上に対応しています。



- ② 「高 (H) 安全と分かっている署名付きのマクロだけを実行することができます。～」のチェックが有効になっている場合がありますので、「中 (M) コンピュータに損害を与える可能性があるマクロを実行する前に選択します。」をチェックして、「OK」をクリックします。

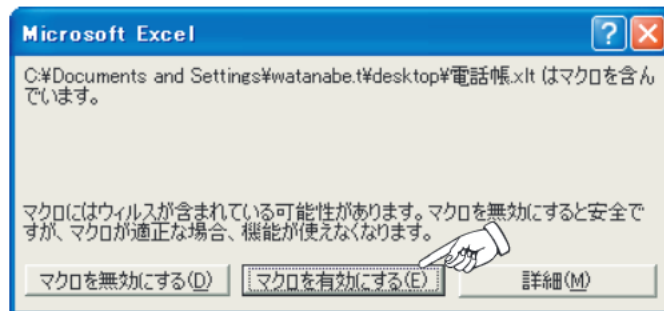
- ③ 一度、Microsoft® Excelを閉じます。

- ④ これで一通りの準備が完了しますので、電話帳データのアップロードをします。電話帳データの編集を終えたらダウンロードします。



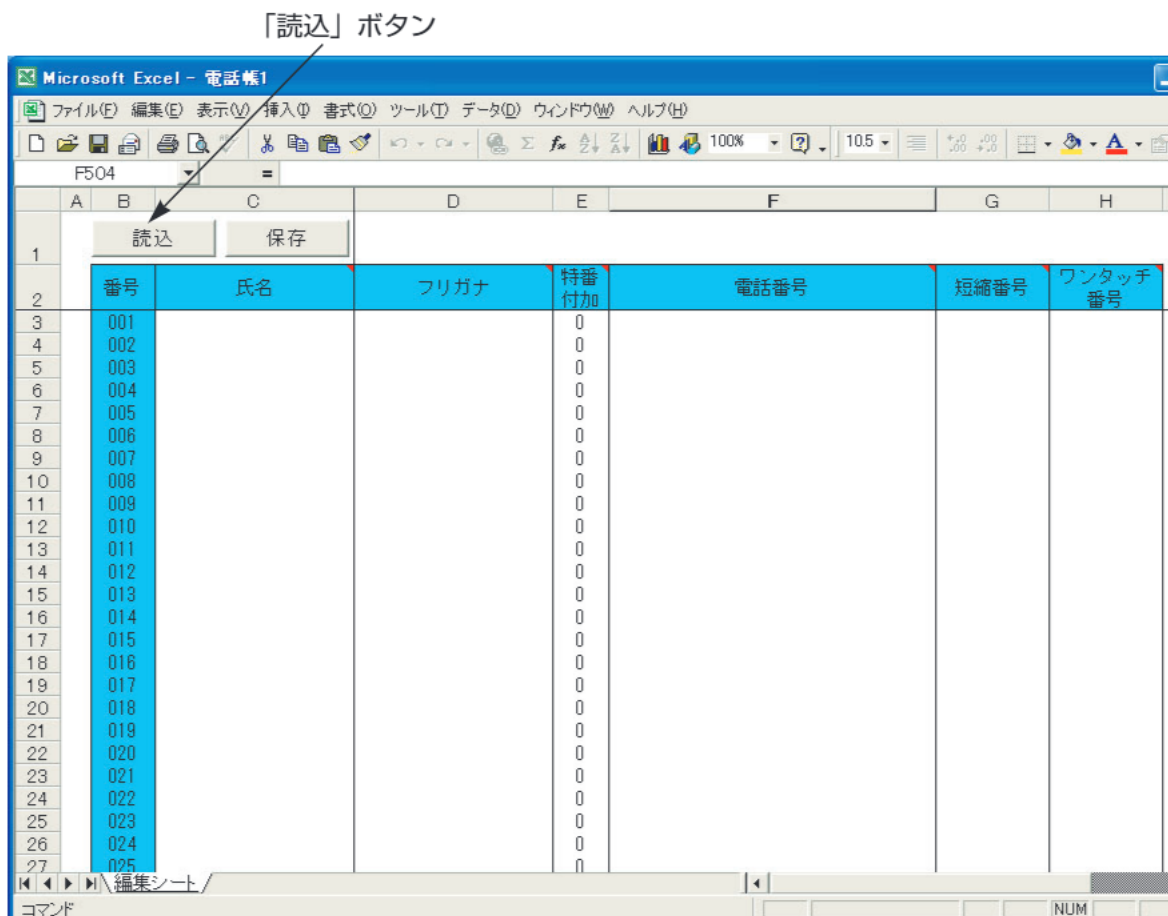
◆電話帳データを使用しMicrosoft® Excelへインポートします。

- ① Microsoft® Excelテンプレートファイル「電話帳.xlt」を開くと以下の画面が表示されます。
- ② 起動時に以下の画面が表示されますので、「マクロを有効にする（E）」をクリックします。

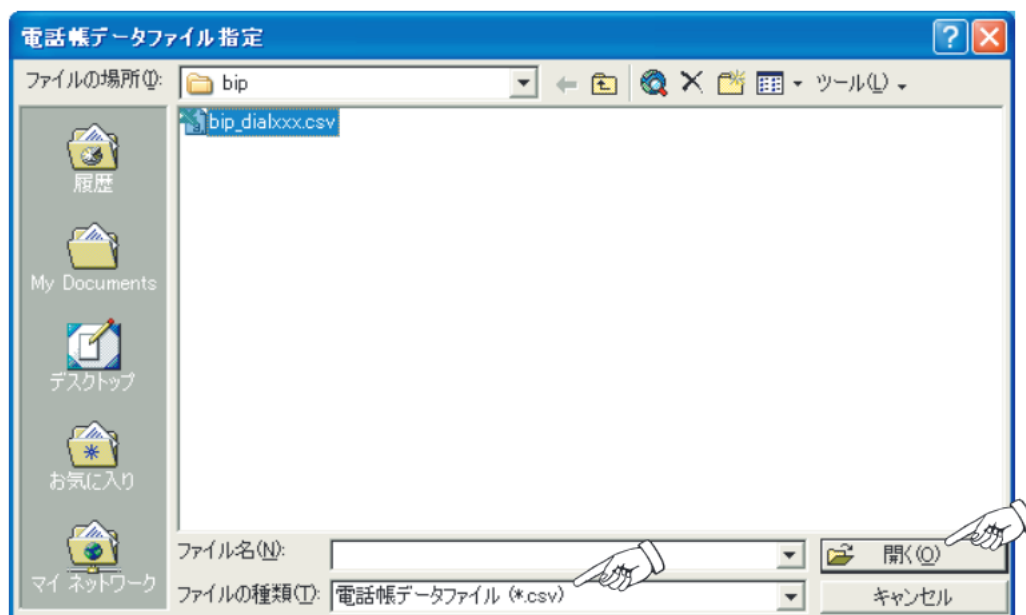


- ③ 以下のテンプレート画面が表示されますので、「読込」ボタンをクリックして、電話帳データファイルを読み込みます。

注）通常の「ファイルを開く」で読み込むと誤動作の原因になりますので、「読込」ボタンを使用してください。

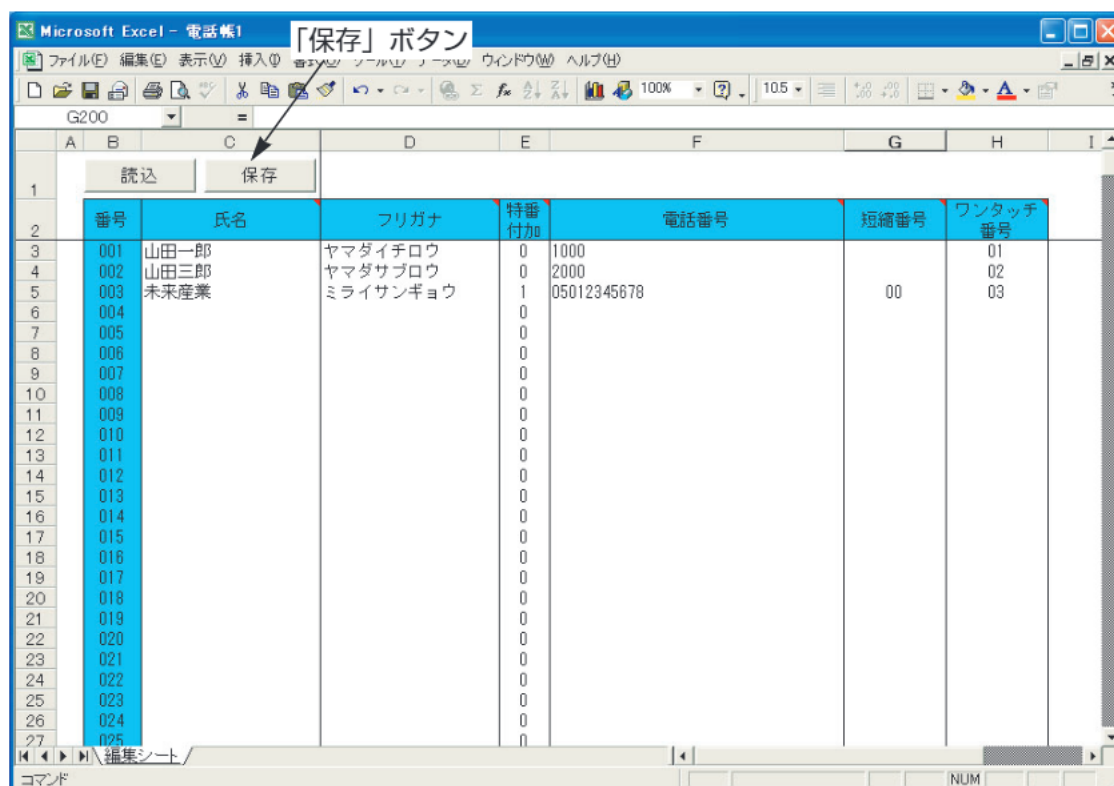


- ④ ファイルの種類(I)を「電話帳データファイル(*.csv)」にして、電話帳データファイルを選択後「開く(O)」ボタンをクリックします。

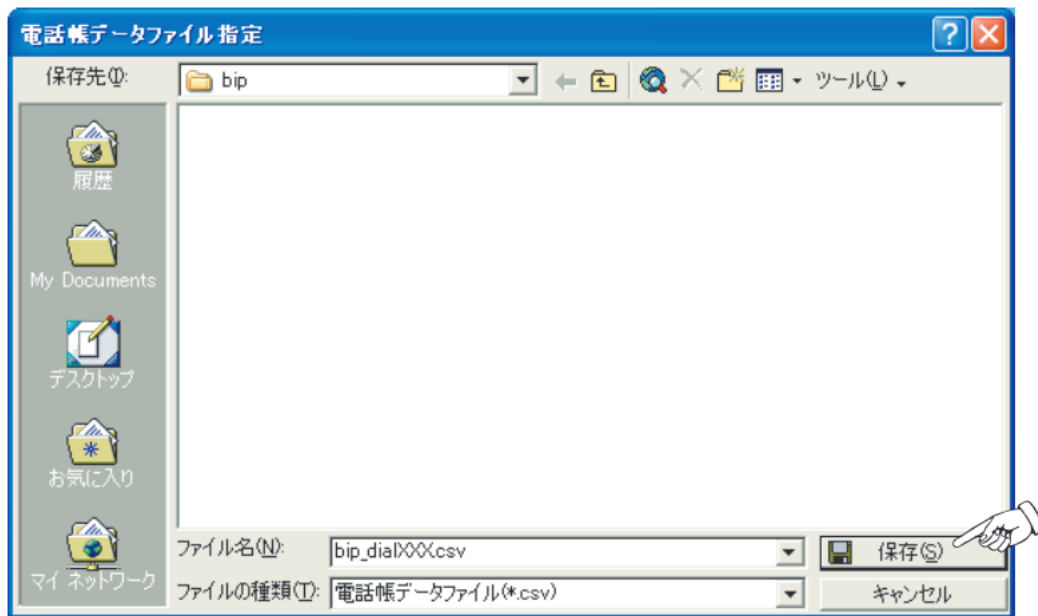


◆Microsoft® Excelで編集した電話帳データを保存する

- ① 電話帳データファイルを読み込むワークシートを開きます。
- ② 「保存」ボタンをクリックして、電話帳データを保存します。



- ③ ファイルの種類(I)を「電話帳データファイル(*.csv)」にして、
ファイル名(bip_dialxxx)を入力後、「保存(S)」ボタンをクリックします。



◆電話帳データのフィールド

【設定例】

番号	氏名	フリガナ	特番付加	電話番号	短縮番号	ワンタッチ番号
001	山田一郎	ヤマダイチロウ	内線発信	1000		01
002	山田三郎	ヤマダサブロウ	内線発信	2000		02
003	未来産業	ミライサンギョウ	外線発信	05012345678	00	03

番号 氏名 フリガナ 特番付加 電話番号 短縮番号 ワンタッチ番号

補足

- 番号 : 登録番号。
- 氏名 : 相手先の名前入力フィールドです。
全角最大10文字を入力します。
- フリガナ : 相手先のフリガナ入力フィールドです。
全角最大10文字入力します。
ワンタッチダイヤルでは、表示されません。
- 特番付加 : 内線発信、外線発信のうちの発信で電話をかけるかを設定します。
(半角数字入力)
0 : 内線発信 1 : 外線発信
- 電話番号 : 相手先の電話番号フィールドです。
(外線捕捉特番は除く)
半角数字最大31桁を入力します。
- 短縮番号/ワンタッチ : 短縮/ワンタッチダイヤル発信するときの番号 (半角数字入力)

2-2 保守メニュー設定で使用するダイヤルボタンについて

2-2-1 電話帳選択でのダイヤルボタン毎の頭出し優先順位一覧表

	ダイヤルボタン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#
表示正候補	ア行	カ行	サ行	タ行	ナ行	ハ行	マ行	ヤ行	ラ行	ワ行	英字	数記号等
表示次候補	カ行	サ行	タ行	ナ行	ハ行	マ行	ヤ行	ラ行	ワ行	英字	数記号等	ア行
ソート順位												
1	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	A	0
2	ア	ガ	ザ	ダ	ニ	バ	ミ	ヤ	リ	ワ	B	1
3	イ	キ	シ	チ	ヌ	パ	ム	ユ	ル	ヲ	C	2
4	イ	ギ	ジ	ヂ	ネ	ヒ	メ	ユ	レ	ン	D	3
5	ウ	ク	ス	ツ	ノ	ビ	モ	ヨ	ロ	ヴ	E	4
6	ウ	グ	ズ	ツ		ピ		ヨ		カ	F	5
7	エ	ケ	セ	ツ		フ				ケ	G	6
8	エ	ゲ	ゼ	テ		ブ					H	7
9	オ	コ	ソ	デ		ブ					I	8
10	オ	ゴ	ゾ	ト		ヘ					J	9
11				ド		ベ					K	(SP)
12						ペ					L	*
13						ホ					M	°
14						ボ					N	—
15						ポ					O	—
16											P	—
17											Q	#
18											R	*
19											S	半角文字
20											T	
21											U	
22											V	
23											W	
24											X	
25											Y	
26											Z	
27											a	
⋮											⋮	
52											z	

※フリガナを登録していない場合は正しく並び替えられません。

2-2-2 ダイアルボタン毎の入力文字一覧表

キー	切替	優先順位(高>低)	キー	切替	優先順位(高>低)
	カナ	ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ		カナ	マ→ミ→ム→メ→モ
A 1	英小	SP	M PQRS 7	英小	p→q→r→s
	英大	SP		英大	P→Q→R→S
	数字	1 / 1		数字	1 / 7
K ABC 2	カナ	カ→キ→ク→ケ→コ	TUV 8	カナ	ヤ→ユ→ヨ→ヤ→ユ→ヨ
	英小	a→b→c		英小	t→u→v
	英大	A→B→C		英大	T→U→V
	数字	2 / 2		数字	8 / 8
S DEF 3	カナ	サ→シ→ス→セ→ソ	W XYZ 9	カナ	ラ→リ→ル→レ→ロ
	英小	d→e→f		英小	w→x→y→z
	英大	D→E→F		英大	W→X→Y→Z
	数字	3 / 3		数字	9 / 9
GHI 4	カナ	タ→チ→ツ→テ→ト	F 0	カナ	ワ→ヲ→ン→ー→→__→SP
	英小	g→h→i		英小	-->/->:><->>(電話帳-->__→SP)
	英大	G→H→I		英大	-->/->:><->>(電話帳-->__→SP)
	数字	4 / 4		数字	0 / 0
N JKL 5	カナ	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	*	カナ	* (濁点) → ° (半濁点) → *
	英小	j→k→l		英小	*
	英大	J→K→L		英大	*
	数字	5 / 5		数字	* / *
H MNO 6	カナ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	#	カナ	#
	英小	m→n→o		英小	#
	英大	M→N→O		英大	#
	数字	6 / 6		数字	# / #
			短縮 (電話帳)	カナ	. (電話帳は対象外)
				英小	. (電話帳は対象外)
				英大	. (電話帳は対象外)
				数字	. (電話帳は対象外)

※最下位順位文字の表示後は、最上位順位の文字を表示します。

2-3 VLAN機能を使用する

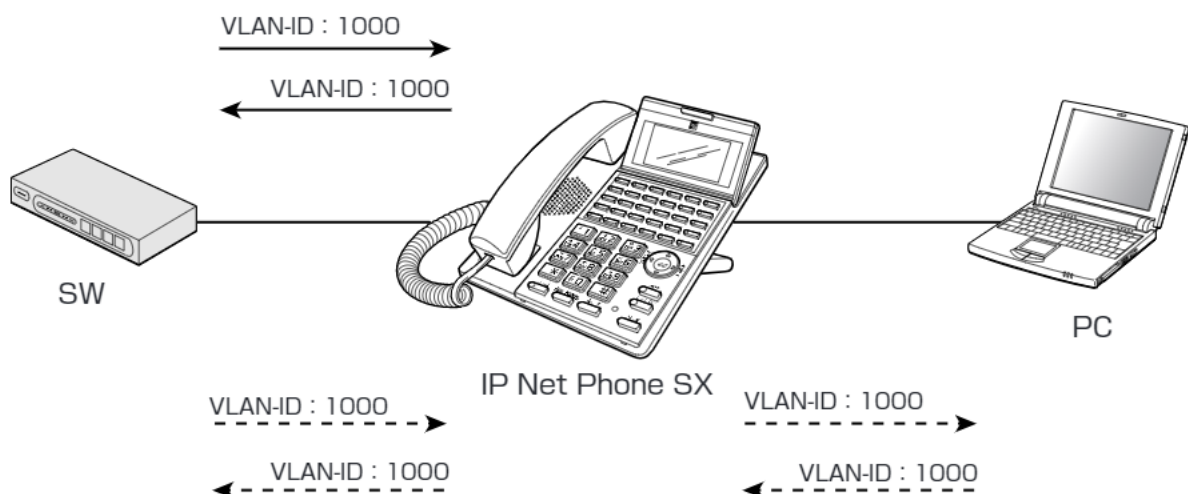
電話機のタグVLAN機能を使用して、以下のようにIEEE802.1Qに準拠したVLANネットワーク環境で動作させることができます。送信プライオリティは自由に設定できますが、音声品質を確保するためにも、音声プライオリティをデータプライオリティよりも高く設定されることを強く推奨します。

2-3-1 電話機のPCポートに接続する機器(PC)にタグVLAN機能がある場合

ケース1：電話機と電話機に接続した機器を同じVLANグループにする場合

【設定例】

設定内項目	設定内容
VLAN使用	使用する
音声VLAN番号	1000
音声PRIORITY	7
データVLAN番号	1000
データPRIORITY	0
PCポートタグ	タグあり



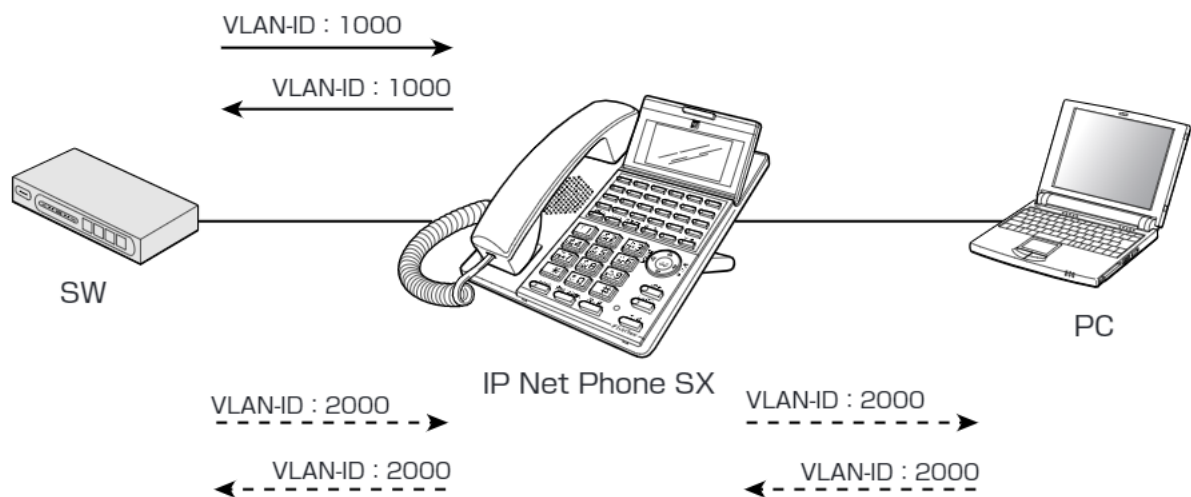
補足

VLAN番号は1～4094の範囲で設定できます。0を設定することはできません。

ケース2：電話機と電話機に接続した機器を異なるVLANグループにする場合

【設定例】

設定内項目	設定内容
VLAN使用	使用する
音声VLAN番号	1000
音声PRIORITY	7
データVLAN番号	2000
データPRIORITY	0
PCポートタグ	タグあり



補足

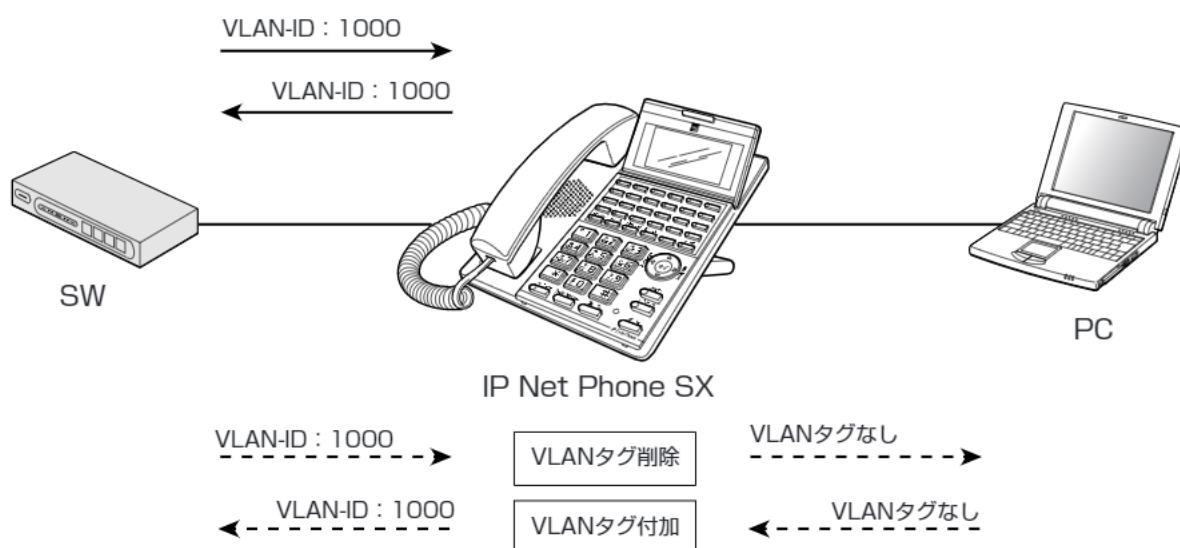
- ◇電話機と電話機に接続したPCのVLAN-IDを異なる値に設定すると、電話機はPCとネットワーク間を中継するだけで、PCと電話機間の直接の通信はできなくなります。
- ◇VLAN番号は1～4094の範囲で設定できます。0を設定することはできません。

2-3-2 電話機のPCポートに接続する機器(PC)にタグVLAN機能がない場合

ケース1：電話機と電話機に接続した機器を同じVLANグループにする場合

【設定例】

設定内項目	設定内容
VLAN使用	使用する
音声VLAN番号	1000
音声PRIORITY	7
データVLAN番号	1000
データPRIORITY	0
PCポートタグ	タグなし



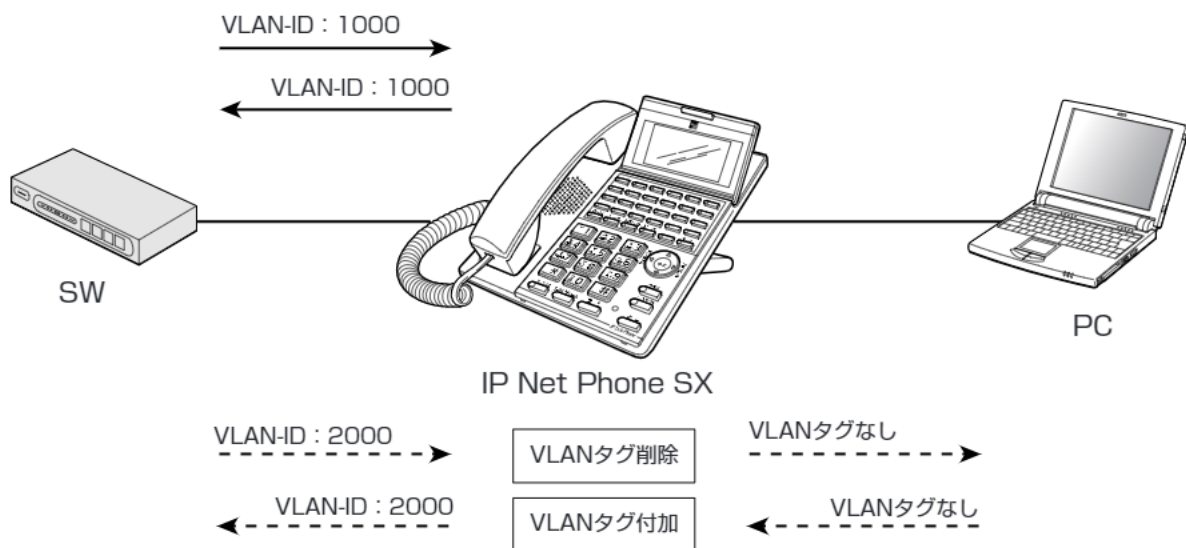
補 足

VLAN番号は1～4094の範囲で設定できます。0を設定することはできません。

ケース2：電話機と電話機に接続した機器を異なるVLANグループにする場合

【設定例】

設定内項目	設定内容
VLAN使用	使用する
音声VLAN番号	1000
音声PRIORITY	7
データVLAN番号	2000
データPRIORITY	0
PCポートタグ	タグなし



補足

- ◇電話機と電話機に接続したPCのVLAN-IDを異なる値に設定すると、電話機はPCとネットワーク間を中継するだけで、PCと電話機間の直接の通信はできなくなります。
- ◇VLAN番号は1～4094の範囲で設定できます。0を設定することはできません。

2-4 「故障かな？」と思ったら

2-4-1 LCDに表示されるエラー

使用状態	LCD表示	エラー内容	処 置
電源投入時	ERR 01 DHCPエラー	IPアドレスが取得できません	・ 管理者に問い合わせ、DHCPサーバおよびIP Net Phone SXの設定内容が正しいか確認してください。 ・ DHCPサーバとのネットワークを確認してください。
	ERR 02 DNSエラー	DNS解決ができません	・ 管理者に問い合わせ、DNSサーバおよびIP Net Phone SXの設定内容が正しいか確認してください。 ・ DNSサーバとのネットワークを確認してください。
	ERR 04 登録失敗	SIPサーバに登録できません	・ 管理者に問い合わせ、SIPサーバおよびIP Net Phone SXの設定内容が正しいか確認してください。 ・ SIPサーバとのネットワークを確認してください。
	ERR 05 認証失敗	SIPサーバへ認証できません	・ 管理者に問い合わせ、SIPサーバおよびIP Net Phone SXの設定内容が正しいか確認してください。 ・ SIPサーバとのネットワークを確認してください。
	ERR 06 保存失敗	設定データが保存できませんでした	・ 販売店に問い合わせてください。
	リンク確立中	NWポートがリンクできていません	・ 管理者に問い合わせ、リンクスピードの確認をしてください。 ・ LANケーブルが抜けていないか確認してください。 ※電源投入やLANケーブルを差ししてから5秒間は表示されますが、異常ではありません。
ダウンロード中	Downloadエラー	ダウンロードに失敗しました	・ LANケーブルが抜けていないか確認して下さい。 ・ もう一度、ファイルの内容を確認してから、ダウンロードを最初から行ってください。
アップロード中	Uploadエラー	アップロードに失敗しました	・ LANケーブルが抜けていないか確認して下さい。 ・ もう一度、アップロードを最初から行ってください。

※処置をしてもエラーが表示される場合は、お買い求めになった販売店に問い合わせください。

2-4-2 着信ランプに表示されるエラー

使用状態	ランプ/LCD表示		エラー内容	処 置
電源投入時	LCD	保守中（1行目） IPアドレス（2行目）	アプリケーションプログラムが正しくありません	アプリケーションプログラムをダウンロードします。
	ランプ	点滅		

2-4-3 こんなときには

故障の状態	原 因	処 置
「発信／着信」ができない	・ SIPサーバが正常動作していない	・ 管理者に問い合わせ、SIPサーバを確認してください。
	・ LANケーブルが抜けている	・ LANケーブルを確認してください。
	・ 電源が入っていない	・ ACアダプタを確認してください。 ・ 給電HUBとの接続を確認してください。
	・ ネットワーク設定が間違っている	・ 管理者に問い合わせ、ネットワーク設定を確認してください。
ダウンロード／アップロードができない	・ ネットワーク設定が間違っている	・ 管理者に問い合わせ、ネットワーク設定を確認してください。
	・ ファイル名が間違っている	・ ファイル名を確認してください。
	・ 設定範囲を超えている	・ 設定内容を確認してください。

2-5 パスワード入力を行う

ネットワーク設定、VALN設定、SIPアドレス設定、認証機能、ディスプレイネーム、サーバ設定、ヘッドセット設定、管理用PC関連の設定に入る場合に、パスワード入力を行います。

▼操作手順

- 1 メニューから対象の項目いずれかを選択する。

パスワード

- 2 パスワードを入力する



パスワード

- 3 [確定] ボタンを押す

確定

- 操作手順1で選択した項目が表示されます。

補足

- ◇パスワード設定が「なし」の場合は、パスワード入力をスキップします。
- ◇パスワードが一致しない場合、エラーとなりエラー音「ピーピーピー」が鳴ります。再度パスワードを入力してください。



本商品はサクサエコマークの製品です。

サクサ株式会社

〒108-8648 東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、電波妨害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。